

令和6年度 第2回義務教育問題研究協議会議事録

開催日時 令和7年2月5日（水） 午前9時45分から午前11時20分

場 所 愛知県庁西庁舎 教育委員会室

協議内容 「自立した学習者」を育てる教育活動の在り方 リーフレット（案）について
<協議の記録>

P.1「コロナ禍における長期の臨時休業期間中、子供の学びが止まってしまった」に対して

- ・ 自立した学習者を育てる教育活動を研究する根拠について、要項に記載されている「学校や教師からの指示がないと、子供はどうしてよいかわからず、学びが止まってしまった」とした方が、根拠が伝わりやすい。

P.1 イラストについて

- ・ イラストの部分が授業の一コマのイメージとなっている。生涯にわたって学び続ける、ということを表すイラストになるとよい。

P.1「調整できる子」について

- ・ 「調整できる子」の内容で、文末が「～調整することができる」とあり、調整を調整という言葉で説明していることに違和感がある。例えば、「学習や活動を振り返り、次の学習や活動に向かうことができる」としてはどうか。
- ・ 調整という言葉の意味について、教員の間でどのように使われているのか確認をしたい。修正する、立て直すという意味も含まれているように思う。

P.1「協働できる子」について

- ・ 自立という言葉は、自分で決めて、自分でやっていくという意味合いだとは思いますが、自分が助けを求める、といった部分もとても大事だと考える。必要に応じて、他者を頼る、といったニュアンスのものが入るとよい。

P.1 巻頭に何を盛り込むか

- ・ この協議で玉置委員から熱い思いを聞くことができた。それが込められている4ページ目の「リーフレットを読み終えた皆さんへ」を1ページ目にもってきてはどうか。改めてこのリーフレットが教師向けであることが分かるように、そして、熱い思いを冒頭に込めていきたい。
- ・ リーフレットを読んでもらう対象について、教員向けであることは間違いないが、Web ページに公開するということは、市民が見るとするのが前提になる。
- ・ トップページには、人を惹きつける言葉やフレーズが必要である。「子供に生き抜く力をつけてやりたい」など、作成者の思いを伝えることで、印象が変わると思う。

P.2,3 計画・選択・調整・協働の四つの円の図について

- ・ 見開きページの真ん中にある「計画」「選択」「調整」の円について、重なっているため、上下が生じている。この上下に意図がないのであれば、重なり部分にも線をつけ、上下が生じないようにするとよい。

P.2,3 記述内容について

- ・ 「調整」をする子供の姿の3つ目の、子供が「意欲を高め」という表現を「自分の学びを明確にし、次への学びを…」という表現にすれば、子供がやることになると思う。
- ・ 「子供が調整をする判断材料を示す」がイメージしづらい。「判断材料を示す」とは何をすればよいか、イメージしやすい表記を求める。

P.2,3 子供の姿や教師の働きかけで表されている記述内容の具体性と抽象性について

- ・ 「自立した学習者」を育てる教育活動の在り方に対する理念については、分かりやすい。しかし、実際に授業を行っている担任に向けてということを考えると、何をすればよいかイメージしにくい。発達段階に応じて、教員が何をどこまでしていけばよいか、具体的に表されていると参考になると考える。
- ・ 具体的なことは、次年度研究委嘱校を設け、実践を行った上で、表していきたいと考える。

P.2,3 学習場面を用意する教師のスタンスについて

- ・ 見開きの図は、これからの教師の役割や姿勢の転換が示されており、それは「Teaching から Coaching へ」だと思う。これまでの教師像では、「自立した学習者」が必ずしも育ててきているとはいえない側面があるという課題があることから、これからの教師像について、この見開きの中に表していくのはどうか。

P.2,3 体裁について

- ・ 吹き出しの中は、他の部分のフォントと変えれば見やすくなる。本来言いたいことをその部分だけフォントを変えると、読み手の目に留まる。
- ・ 写真を現場の先生方に募集すると、県内の先生方も巻き込んでのリーフレットになるので、より多くの方に読んでもらえるようになるのではないかな。
- ・ 上から言われるより、同僚や仲間と言われるとずっと受け入れられるものであるから、今後は実践に取り組まれている方の意見や考えを載せるとよい。

P.4 Q&Aについて

- ・ 文部科学省は、学習の基盤となる資質・能力として情報活用能力を位置づけている。タブレット端末は日常的に使っていかねばならないものである。子供が学び合う場面で必要であるということ踏み込んで主張してもよいかと思う。
- ・ 今後、修正していく中で、4ページ目にスペースができたのなら、もう一つ付け加えたいものとして、この教育活動が学習場面以外のところで、例えば日常生活における「自立した学習者」を育てる教育活動について触れるのはどうか。
- ・ Q&AのAの分量が多い。一問一答式で分かりやすくする。
- ・ ICTに関して、タブレット端末は道具であり、端末を使うことを目的としないことが大事。ICTを全面的に出す必要はないと考える。